

CHAPTER
3

たかはし修司 栃木県アジェンダ

学び・育む

教育は現場の市町、学校、子供たちと向き合う指導者に任せることを基本として、「引き出し」(選択肢)の多い教育を実現することを目指しています。子どもたちの潜在的な能力や個性を十分に引き出し、学力日本一を目指すとともに未来の栃木を背負って立つ、心身ともにたくましい誇り高き「とちぎっ子」を育成するために、地域の実情に応じた教育を支援します。

心豊かな教育を推進し 見守り育てる支えあいの社会を



「心の教育」を推進

情操教育を通じて、いじめ・不登校・引きこもりなどの問題行動の防止や早期解決を図ります。

個性を発揮できるキャリア教育を推進

自らで進路を選択できる意欲的な教育を推進し、スポーツ・文化・芸能等を含めた幅広い選択機会を与えることのできる教育を目指します。

教員の資質向上と教員の確保

教育採用試験のあり方を抜本的に見直し、意欲と能力のある志望者を採用するとともに、さまざまな問題に対応できる教員を確保します。また、いじめや不登校の問題に対処するスクールカウンセラーの全校配置を目指します。

全国学力テストの完全実施を支援

抽出方式となった全国学力・学習状況調査(全国学力テスト)については、抽出対象外となった学校も含めて完全実施を支援します。

奨学金制度の大幅拡充

親の所得によって教育格差が生まれないように、高校や大学進学のための奨学金制度を大幅に拡充します。

文化財の保護と文化の振興

本県における各種文化財を保護するとともに「栃木県文化振興基金」の幅広い活用などを通じて、県内の民俗芸能や伝統工芸、芸術を振興します。



たかはし修司 栃木県アジェンダ
重点項目③

グローバル教育の本格化

経済活動が国境を越えて活性化する中で、若者の内向き志向の問題、日本の学生の海外留学の激減などの問題が各方面において指摘されており、本県においても世界的に開かれた人材を育成しなくてはなりません。そのための第一歩として、中高生の英語力の向上を目指します。

〈県立高校の入学試験、授業にTOEFLを導入〉
県立高校の入学試験において、英語圏の大学への留学希望者を対象とする英語能力テストである

TOEFL(Test of English as a Foreign Language 外国語としての英語テスト)型の試験の導入を目指します。

また、授業においても導入し、「読む」「聞く」「話す」「書く」のバランスの取れた実践的な英語力の向上を図ることを提案します。

私は、このような取り組みを通じて、若者の留学に対する一つの障壁が取り払われ、栃木発の国際人が続々と輩出されることを期待しています。